

施策名	行政評価 施策体系	健康づくりの推進	施策 統括課	予防・健康担当	氏名	尾崎 重明
政策名		ひとが生きる・暮らす	施策 関係課	高齢者支援課、地域包括ケア推進担当、健康増進課、生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

・市民

意図(対象をどう変えるのか)

・病気を予防する
・より健康な状態になる
・適切な医療を受けられる

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称		単位
ア	人口	人
イ		
ウ		
エ		

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称		単位
ア	生活習慣病の疾病率(内分泌、栄養及び代謝、循環器系の疾患) 疾病率は国保レセプトの上記疾患件数の全体に対する割合	%
イ	1年前より健康だと感じている市民の割合	%
ウ	医療体制・内容に安心している市民の割合	%
エ		
オ		

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
元気にたち健康づくり計画の推進	運動・遊びによる健康づくりを進めていきます。食生活による健康づくりを進めていきます。休養・こころの健康づくりを進めていきます。たばこ・アルコール・薬物の知識普及を進めていきます。健康診査・健康相談の充実を図ります。
市民、行政、関係機関の協働による健康づくり	個人個人の健康観により、一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりの環境を、市民、行政、健康づくりに関連する団体等と協働して構築します。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値									76,000	
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265				
		見込み値										
		実績値										
成果指標	ア %	成り行き値				24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	
		目標値				24.0	23.5	23.0	22.0	21.0	20.0	
		実績値	25.0	23.7	24.0	25.5	26.06	28.3				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			40代が14.7%であるのに対し、50代では25.1%に上昇してしまうことから、その平均値である20%を目標としました。								
	イ %	成り行き値				15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	15.3	
		目標値				15.9	16.5	17.1	17.7	18.3	19.0	
		実績値	14.3		15.3	14.6	13.1	15.2				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			第2回国立市市民意識調査で地域別で最も高い水準である西地域の18.9%を上回る数値を目標値としました。								
	ウ %	成り行き値				69.2	69.2	69.2	69.2	69.2	69.2	
		目標値				69.7	70.7	71.7	72.7	73.7	75.0	
		実績値	62.0		69.2	73.0	70.3	70.5				
	基本計画における施策の目標設定の根拠			第2回国立市市民意識調査で「あなたは、近くに安心してかかることができる医療機関がありますか?」との問いに対し「ない」と回答された方のうち、「医療機関に関する情報が不十分だから」を理由とされた方を半減させた数値を上乗せし目標値としました。								
エ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における施策の目標設定の根拠												
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における施策の目標設定の根拠												
事務事業数		本数	58	63	60	59	59	62				
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	2,134,891	995,089	1,535,715	970,551	985,519	953,545			
		都道府県支出金	千円	572,592	302,576	279,534	250,828	329,485	413,830			
		地方債	千円			33						
		その他	千円	3,622,111	2,730,276	2,866,363	2,882,692	2,897,724	3,070,408			
		一般財源	千円	2,342,558	1,911,544	1,540,283	2,003,280	2,037,911	2,208,551			
		事業費計(A)	千円	8,672,152	5,939,485	6,221,928	6,107,351	6,250,639	6,646,334	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	20,539	24,504	22,598	22,328	21,776	22,689				
	人件費計(B)	千円	92,816	108,113	102,325	101,356	98,300	102,174				
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,764,968	6,047,598	6,324,253	6,208,707	6,348,939	6,748,508	0	0	0	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・医療制度改革関連法の施行に伴い、市が健康づくりに関して実施する事業が20年4月から健康増進法と高齢者の医療の確保に関する法律に変わり、特定健診、特定保健指導の実施が医療保険者に義務付けられた。
 ・70歳以上で現役並み所得の方は平成18年10月から医療費の自己負担割合が2割から3割となった。また、70～74歳の方は、20年4月から本人負担金の割合が1割から2割となった。(この割合は、平成25年度まで延長されている。)
 ・乳がん・子宮頸がん・大腸がんに対する国の補助制度が整備され、がん(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)の受診率を50%にまで上げる事業を実施している。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

[議会] がん検診(大腸がん、子宮頸がん)を充実して受診率を上げて欲しいとの要望がある。また歯科疾患予防のフッ素塗布のについて、市の実施の在り方の検討を求められている。
 [市民] 市内に専門的な医療機関が無い、医療機関に関する情報が不十分である、近くに医療機関が無い、総合病院がない、夜間救急診療機関が少ないという声があった。

5 24年度の評価結果

(1) 24年度行政経営方針の取組状況

24年度行政経営方針	取組状況
「予防に勝る治療なし」の考え方を施策の基本とし、「元氣なくにたち健康づくり計画」がめざす健康像の実現に向け、生活習慣病予防やこころの病の予防等の取組を行っていく。また、受診率の低い各種がん検診及び市が実施する国民健康保険加入者の特定検診の受診率の向上には特に力を入れていく。発達しょうがい児に対する療育事業については、関係部署と連携しながら早期発見・早期支援に継続して取り組んでいく。	健康診査の結果を踏まえ、生活習慣病予防のため、運動指導、栄養指導等の特定保健指導を実施し、高齢者には、介護予防のため、特定高齢者に対する低栄養、運動機能等の事業を実施している。こころの病については、自殺予防の講演会及び映画会を実施した。発達しょうがい児については、年代別に親子の集団指導を実施している。また、がん検診については、大腸がんでは、受診率向上の施策を検討し、子宮頸がんでは、リボン・ムーブメントによる受診啓発を行った。平成22年度に「第2回 国立市民の健康に関する意識・実態調査」を実施し、今後の取り組みに反映していく。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較) 成果指標ア 【生活習慣病の疾病率(内分泌、栄養及び代謝、循環器系の疾患)】 疾病率は国保レセプトの上記疾患件数の) <input type="checkbox"/> 24年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果向上・維持 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果低下) 成果指標イ 【1年前より健康だと感じている市民の割合】 <input type="checkbox"/> 24年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果低下) 成果指標ウ 【医療体制・内容に安心している市民の割合】 <input type="checkbox"/> 24年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果低下) 成果指標エ 【 <input type="checkbox"/> 24年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果低下) 成果指標オ 【 <input type="checkbox"/> 24年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 23年度実績値と比較し成果低下)
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下) C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
他自治体との成果の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い) C:他自治体と比べてほぼ同水準である
「背景として考えられること」 ア 特定保健指導対象者の指導率は、上がっているものの、高齢者の割合が増加しているため、全体の生活習慣病の疾病率が若干上がっている。 イ 健康だと感じている市民の割合は前年度と比べて上がっているものの、全体としては、横ばいである。 ウ 市内には、大きな病院はないものの、近隣市に高度医療を受けられる病院が数か所あり、市の実施しているがん検診の啓発も行われている。 生活習慣病の疾病率は上昇しているが、人口構造的な要素がある。また、「健康だと感じている」の割合が増えている。 多摩の各市と同様の事業展開をしており、同水準とした。また、予防接種事業が充実してきている。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・国保税条例の改正により、国保税率を改定した。
 ・ふれあい銭湯事業は平成25年度から事業見直しを行った。
 ・まちかど保健室及びオリジナル体操普及推進事業は引き続き見直しの検討を行っている。
 ・くにたちポイント付与制度を導入したが特定健診の受診率が上がっていないので、今後の検討を必要とする。
 ・一般高齢者向け介護予防事業の参加希望者が多く待機者がある。

6 施策の課題・今後の方向性

・元氣なくにたち健康づくり計画の着実な実行による予防事業の充実
 ・特定健診の健診結果の活用方法の構築
 ・特定健診受診率をさらに高めるための事業展開の検討
 ・楽しみながら参加できる介護予防事業の実施を検討する。
 ・がん検診事業の充実及び受診率向上への方策の検討
 ・特定保健指導の対象者のうち、特定保健指導を受けた者の医療費が前年に比べて下がった。